



Alma Mater

SAPIENTIA

Vol.13
Mar.15.2000

発行：英知大学同窓会
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：野村 裕
編集：英知大学同窓会

●ようこそ同窓会正会員へ.....1	●同窓会に思うこと.....4	●退官された先生からのメッセージ.....7
●岸学長ご挨拶「2000年紀を迎えて」.....2	●関東支部ニュース.....4	●OB戦を終えて.....8
●新しいロゴマークを紹介します.....2	●つれもていこら和歌山グループ.....4	●第33回英南戦を終えて.....8
●新執行委員会の紹介.....2	●学内・企業研究会開催される.....5	●編集後記.....8
●同窓会事務局便り.....3	●起業家精神のすすめ.....6	

ようこそ 同窓会正会員へ



会長 野村 裕

早春の候、ここにくらべてたくご卒業された4回生の皆様ご卒業おめでとうございます。また、今日より正式に我が「英知大学同窓会」正会員になられ、心より会員一同お迎えしたいと思います。

先日、ある記事で読みましたが、新成人のマナーの悪さは「定説」になっているらしい。式典中の私語や携帯電話で会場がざわめくのは当たり前。来賓の挨拶などは誰も聞いていない。「つまらない挨拶を聞くより、友達とおしゃべり



した方が楽しいじゃん」ということらしい。各自自治体は「こんな成人式なら、ばかばかしくてやつてられない」という気持ちだろう。

明治の文明開化に、誰かが英語のフリーダムを「自由」と訳した。これは数ある誤訳の中で、とびきりである。フリーダムは他からの拘束・束縛・強制・支配を受けないう事という意味だが、「自由」にそんな意味はなかった。「欲しいままに振る舞う」という意味で使われていた。「あれ買って」と泣きわめく子供がいるが、その振る舞いが「自由」。つまり、何をや

っても責任を問われない行動。勝手気侷、我侷と同じ意味だった。

新成人のマナーの悪さは、「自由」の本来の意味に立ち戻ったといえる。式典中の私語や携帯電話は、束縛からの解放を意味しない。幼児的な自由だ。ならば新成人にこう訓辞したらよい。

「勝手にしなさい、気侷にやりなさい、それはあなたの自由ですよ。その代わり、幼児ではないのだから、責任を問われることもありますよ。それぐらいの覚悟があるんでしょね。」という、今風の若者気質を反面風刺しているものでした。

ここにあるように、これからの社会生活は「自己責任」を自らが考え、行動し、責任を問われることとなります。自ずと各個人の「生きざま」がその人の歴史を背景とした評価につながります。ひいては、出身学校を背中に背負い世に問われる場面が多くなるものと思います。

我々同窓生の社会での活躍なくしては大学を問えません。その為にも、自らの出身大学に誇りを持ち、広く各領域で活躍されますことを祈ります。



1999年度 英知大学同窓会 決算報告

(1998年10月1日～1999年9月30日)

(単位：円)

【収入の部】

費目	金額	摘要
前年度繰越金	7,403,867	
同窓会入会金収入	3,983,000	同窓会入会金収入
同窓会会費収入	1,128,000	終身会費及び年会費収入
名簿売上高	6,000	同窓会名簿売上高
受取利息	18,605	預金利息及び貸付金利息
雑収入	35,110	バザー売上他
合計	12,574,582	

【支出の部】

費目	予算	実績	摘要
旅費交通費	150,000	88,570	関東支部交流他
通信費	300,000	1,186,137	名簿郵送費他
監査費	120,000	120,000	会計監査
会費に関するシステム作成費	4,000,000	0	
事務用品費	200,000	93,261	消耗品
支払手数料	50,000	10,815	振込手数料他
会議費	700,000	519,649	役員会議費(年間20回)
事務局維持費	4,000,000	448,344	アルバイト代他
印刷費	3,500,000	2,298,719	会報年2回・名簿追補版他(郵送料含む)
OBクラブ開催費	1,000,000	1,020,073	Home Coming Day及び総会
助成金	2,500,000	1,179,000	助成金
献花費及び記念品費	1,100,000	1,071,020	入学・卒業・開学35周年記念他
配付金	450,000	350,000	関東支部運営費
雑費	200,000	46,744	写真代他
予備費	8,233,867		次年度繰越金等
合計	26,503,867	8,432,332	

前年度繰越額	7,403,867
本年度収入額	5,170,715
本年度支出額	8,432,332
次年度繰越額	4,142,250

財産目録

(1999年9月30日現在)

(単位：円)

【資産の部】現金及び預金		現金
	本部現金	1,202,217
	事務局現金	1,487
	合計	1,203,704
	普通預金	
	さくら銀行/園田支店	336,351
	さくら銀行/園田支店	1,088,234
	さくら銀行/園田支店	200,472
	さくら銀行/難波支店	410,033
	合計	2,035,090
貸付金	学費支援貸付金	110,000
	〃	64,164
	〃	128,334
	〃	420,000
	合計	722,498
未収入金	貸付返済滞り額	294,692
	〃	19,266
	合計	313,958
資産の部合計		4,275,250
【負債の部】未払金		監査費 120,000
		預り金 13,000
負債の部合計		133,000
【次期繰越金】		4,142,250

2000年度 英知大学同窓会 予算案

(1999年10月1日～2000年9月30日)

(単位：円)

2000年度 事業計画案

- (1) 同窓会入会金の徴収、同窓会会費の徴収
- (2) 同窓会組織の充実
- (3) 同窓会「会報」の充実

2000年度は上記を目標に活動したいと考えます。皆様の暖かい御支援を心よりお願い申し上げます。

【収入の部】

費目	金額	摘要
前年度繰越金	4,142,250	
同窓会会費	5,400,000	平成12年度新入生 20,000円×270名
在校生入会金	16,160,000	1回生16名・後期分382名、 2回生85名、3回生251名、4回生259名
年会費	300,000	年会費 3,000円×100名
終身会費	900,000	終身会費 30,000円×30名
受取利息	100,000	
合計	27,002,250	

【支出の部】

費目	予算	摘要
旅費交通費	200,000	関東支部交流他
通信費	1,700,000	会報送付・電話代他
監査費	120,000	会計監査
事務用品費	100,000	消耗品
支払手数料	50,000	振込手数料他
会議費	700,000	役員会議費(年間約20回)
事務局維持費	2,000,000	アルバイト代他
印刷費	2,500,000	会報年2回・名簿追補版・案内状・委任状他
OBクラブ開催費	1,200,000	総会及びHome Coming Day
助成金	1,500,000	実行委員会、クラブ・クラブOB会、 クラス会、留学生、会社説明会等
会費に関するシステム作成費	2,500,000	名簿調査費含む
献花費及び記念品費	100,000	入学・卒業式献花代
配布金	450,000	関東支部・和歌山グループ運営費
雑費	200,000	写真代他
予備費	13,682,250	次年度繰越金等
合計	27,002,250	

「大学祭実行委員会長より」

英語英文学科3年生 山田 藍

私は、大学に入ってから学園祭に3度関わってきました。1度目は、初めての経験というところもあって、先輩方に教えられ様々なことを学びました。少数者だったこともあり、一人一人がいくつもの仕事をかけもちし、与えられた仕事をこなしていくのが精一杯でした。

2度目は、先輩たちが卒業され、私たちが先頭に立って実行委員会を引く張っていくことになりました。いろいろと問題もありましたが、メンバーに恵まれ、前回よりも手応えのある学園祭になりました。

99年度の学園祭は、3度目ということもあって、私たちも学園祭実行委員会の運営について、いろいろと考えられるようになりました。そして、新しい試みということで、今回の学園祭は、同窓会の方々に協力して頂き、色々な新しいアイデアや実行委員会だけでは企画だけで終わってしまうようなファイヤーストームなども実現し、今後の学園祭の幅も広がったように思われます。ただ、過去に同窓会と拘

わって学園祭を開催したという前例がなかっただけに、どういう形で同窓会の方たちと話を進めていけばいいのかということ、私たちが実行委員会側はとて戸惑いました。しかし、今回新しい形で学園祭を運営し、いろいろと見えなかったものが見え、これからの学園祭にとって大きな転機になることを期待しています。

WINNER...

79英文卒 武庫 千昭

ここ数年遠ざかっておりましたが、今回、当時在籍していたクラブの先輩や後輩にお誘いの電話いただき、久しぶりに夫婦揃って大学祭に行かせていただきました。

懐かしい方々にお会いし、想い出話や近況を話しながら楽しい時間を過ごさせていただきました。

妻も思いもよらず懐かしい同級生に会うことができ、本当に喜んでおりました。

遠くに住んでいる方も多いので仕方ないのかもしれませんが、懐かしい方々に会えるのも実際は僅かな人数で、卒業以来会っていない方々の数の方が多いのが現実です。

が現実です。

もつと多くの卒業生が大学祭に来られることを願うとともに、私自身、できる限り行かせていただき、思いがけない出会いが多く有ることを願っています。

ただひとつ、建物を始め学校が立派になり、OB会のパーティーはいつもより盛大になっていったように思いますが、その反面、模擬店などもブランドにしか見ることができず、大学祭そのものが小規模になっているように寂しい思いがしました。以前は、お金を掛けることなく、それぞれのクラブが、内装に工夫を凝らした模擬店や展示、演奏等を行っておりました。ユースは周遊軒、ワンゲルはケルンと、名前だけでも懐かしく思います。時間が経てば色々なことが変わって当たり前だとも思いますが、お世話役として大変なご苦労をお掛けしている方々には申し訳ないのですが、そのような雰囲気を感じさせていただければもつと良かったように感じました。

最後になりましたが、メインイベントの大ビンゴゲーム大会で、5万円のホテル券を頂きましたことをお礼申し上げます。この原稿代としてお許しください。

昨年のホームカミングデーは、初めて「大学祭実行委員会」との連携を試みしました。夏期合宿・事前の役員月例会には在校生に参加し、大学祭直前の打合せには実行委員諸君の合宿所（懐かしの教授館）へ押し掛けました。同窓会として大学祭に模擬店を出店したり、イベントへの協賛、合同イベントも試み、同窓会正会員（卒業生）・準会員（在校生）の交流は楽しいものになりました。当初は戸惑いもみられた実行委員の皆さんも、直前打合せでは同じ英知の仲間として和気あいあいの「和み」を見せてくれました。

今後も「協賛」の形をとり、同窓会員相互の交流の場として定着させたいと考えています。アイデア・ご参加等、皆様様の参加をお待ちします。

ホームカミングデーには参加者が年々増加し、学生食堂に入りきれなくなるのではと、うれしい悲鳴をあげています。ただそれに比べて「総会」への出席者・委任状送付者が少なく、今回も議決定数に達せず「仮議決」となりました。

NPOだ、自治の時代だと声高に叫ばれてはいますが、今一度、母校の同窓会をそんな観点から考えてみていただけないでしょうか。ご承知のように我が母校は、学生の絶対数が少なくスケールメリットは享受できません。翻って考えると分母が小さい分、一人ひとりの参加意識が大きく反映されるといふことになり

ます。まずは、入会金、委任状、年会費から参加願えると、母校とともに発展が可能になると考えます。ぜひ、開学50周年にむけて第一歩を踏み出して頂きたいとお願ひして稿を終えます。

